第7回「正文ペラントの日」 記念公開講演会

La 7-a Publika Prelegkunveno memore al Japana Tago de Esperanto

国際共通語エスペラントの普及が、1906年6月に日本で本格化した日を記念する公開講演会です。今年はポーランド生まれの創始者ラザロ・ルドヴィーコ・ザメンホフ没後100年に因み、ポーランド広報文化センターの後援をいただきました。どなたでもご参加いただけます。

木村護郎クリストフ氏(上智大学教授)



今なぜ節英か一脱英語依存への道

どこを見渡しても英語が目に入る今日の日本。そこまで英語が「必要」なのだろうか。そして、英語依存がさらに進むとどういう社会に向かうのだろうか。 英語熱から少し離れて冷静に日本や世界の現状をみすえて未来を考えるところから、別の道がみえてくる。

伊藤哲司氏(茨城大学教授)



ネット社会に求められるリテラシー

インターネットが発達した社会においては、世界中の情報が自由に手に入ると思いがちである。実際には、自分の志向に合致する情報により多く接するカラクリがある(エスペランチストにとっては「世界の人々のほとんどがエスペラントに共感している」?)。そんなネット社会(reta socio)に求められるリテラシー(legopovo)について考える。

日時: 2017年6月10日(土)

午後2時~5時

会場:エスペラント会館4階教室

東京都新宿区早稲田 12-3 地下鉄東西線「早稲田」駅下車、 出口1(神楽坂寄り)左斜め前 /

参加費:500円

主催・お申込み:

一般財団法人

日本エスペラント協会

☎ 03-3203-4581

ファクス 03-3203-4582

ホームページ http://www.jei.or.jp/

後援:

ポーランド広報文化センタ-INSTYTUT POLSKI TOKIO

エスペラント創始者

今年はザメンホフ没後100年です

3 当日は関連図書の展示即売とエスペラント古本市を行います。 €